

高橋耕平

街の仮縫い、

個と歩み

Transitional  
Cityscapes,  
Individual  
Paths

注目作家紹介プログラム チャンネル7

二〇二六年（平成二八年）

一〇月一五日 〔土〕

二月二〇日 〔日〕

午前二〇時―午後六時（金・土曜日は午後八時まで）  
休館日 月曜日

会場 兵庫県立美術館

ギャラリー棟階 アトリエ1、ホワイエ

観覧料 無料

主催 兵庫県立美術館

後援 公益財団法人伊藤文化財団

助成 公益財団法人朝日新聞文化財団 公益財団法人テルモ生命科学芸術財団

公益財団法人 中内カノシンゴ振興財団 公益財団法人 野村財団

TERUMO FOUNDATION for LIFE SCIENCES and ARTS NOMURA 野村財団

協力 阪神淡路大震災記念人と防災未来センター

平成二八年年度 文化庁 文化芸術による地域活性化推進補助金推進事業



街の仮縫い

と歩み

美術館



兵庫県立美術館  
HYOGO PREFECTURAL MUSEUM OF ART



Takahashi Kohei

近年、現代美術の領域では、特定の場や人を取材し、映像や写真、言葉などで表現するというスタイルで、多くの注目すべき作品が生み出されています。京都を拠点に活動する高橋耕平（九七七〜）も、そうした作品を手掛ける美術家の一人です。本展では、二年前に起こった阪神・淡路大震災以降の、都市の経験や記憶をテーマに、神戸・阪神間で撮影した映像や写真等から成るインスタレーションを制作、発表します。

たとえ同じ街に暮らしていても、それぞれの人の身体は街を違ったふうに経験しています。街のある造りが、ある人には便利な一方で、他の人には障害となることもあります。しかしどのような場合もそこに生きる人は、解決の糸口を求め、自らの身体で街を探り、縫うように歩を進めます。それはまるで、それぞれの身体にあわせ街を更新し続ける仮縫いのようだ、と高橋はとらえます。

二年前にさまざまな人がこの街で経験したことの記憶や記録。さらに現在それぞれの人がこの街をどのように経験し、歩み続けているのか。ともすれば「被災地の経験」などとひとことでくくられがち、しかし決して誰一人同じではない個性性に注意を払いつつ、高橋はそれらをいったん解き、自身の経験として新たに緩く縫い直し、提示します。

この展覧会が、直接的な被災経験の有無を越えて、多くの方にとり、自分とは異なる個の経験に想像を巡らせ、街で生き歩み続けることについて考える機会となれば幸いです。

高橋耕平 たかはしこうへい

一九七七年京都府生まれ、二〇〇二年京都精華大学大学院修士課程芸術研究科造形専攻修了。近年の主な発表は個展「HARADA-san」(二〇一三年 Gallery PARC、京都)、「作家下ラフト」(二〇一四年 高橋耕平「史と私」(二〇一四年 京都芸術センターギャラリー)、「ほんとのうへのツクリゴト」(二〇一五年 岡崎市日本多文化センター)、「社会の芸術フオーラム展『舞踏』」(二〇一五年 HIGURE 17.15 case、京都)、「第二回 PATInKyoto 京都版画下ラフト」(二〇一六年)、「二〇一六年 京都府美術館」など。

作家ウェブサイト <http://www.takahashi-kohei.jp/>

# CHANNEL

HPMA Spotlight Artist Showcase

注目作家紹介プログラム「チャンネル」とはチャンネル(channel)という単語には「海峡」や「水路」、美術館の前にもある「運河」、テレビやラジオの「チャンネル(局)」、「思考・行動の方向」、さらには何もかとの「交通」など、様々な意味があります。そこに共通するのは「何かと何かをつなぐこと」。美術館を訪れる人と、同じ時代を生きるアーティストとがつながっていくことを願って、タイトルを「チャンネル」としました。

## 高橋耕平 街の仮縫い、 個と歩み

Takahashi Kohei

## Transitional Cityscapes, Individual Paths

### 関連事業

#### アーティスト・トーク

一〇月一五日(土) 一五時三〇分—二六時五〇分

レクチャールーム(定員〇〇名、展覧会場にて一聴講無料)

\*兵庫県立美術館「芸術の館友の会」共催事業  
\*トーク終了後一七時より、友の会会員限定のスペシャルイベント有り。  
詳しくは友の会事務局(T E L 〇七八二二六二〇九二六)までお問い合わせください。

#### 対談 村上しほり×高橋耕平

十一月九日(土) 一五時三〇分—一七時〇〇分

(※)防災未来センター 震災資料専門員/神戸大学大学院人間発達環境学研究科研究員

レクチャールーム(定員〇〇名にて一聴講無料)

\*兵庫県立美術館「芸術の館友の会」支援事業

### 兵庫県立美術館 HYOGO PREFECTURAL MUSEUM OF ART

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1 [HAT神戸内]  
Tel 078 262 0901(代表)  
<http://www.artm.pref.hyogo.jp>



#### 交通案内

阪神岩屋駅(兵庫県立美術館前)から南に徒歩約8分  
JR神戸線灘駅南口から南に徒歩約10分  
阪急神戸線王子公園駅西口から南西に徒歩約20分  
JR三ノ宮駅南から神戸市バス(29・101系統)・阪神バスにて約15分、HAT神戸方面行き「県立美術館前」下車すぐ  
地下駐車場(乗用車80台収容・有料)

\*ご来館はなるべく電車・バスをご利用ください。  
\*団体バスでお越しの場合はバス待機所のご予約をお願いします。

### 同時開催の展覧会

#### 企画展示室

日伊国交樹立150周年記念  
世界遺産 ポンペイの壁画展  
10月15日(土)—12月25日(日)

#### 常設展示室(県美プレミアム)

〈小企画〉美術の中のかたち—手で見る造形  
つなぐ×つむむ×つかむ:無視覚流鑑賞の極意

〈特集〉時間をひらく—新収蔵品を中心に  
7月2日(土)—11月6日(日)

〈小企画〉ハナヤ勘兵衛の時代デユ!! (仮称)

〈特集〉彫刻大集合 (仮称)  
11月19日(土)—2017年3月19日(日)

#### 横尾忠則現代美術館

ヨコオ・マニエリスム vol.1  
8月6日(土)—11月27日(日)

#### 表面作品画像

《神戸市の路上—電線点検作業》2016年  
\*引用資料 人と防災未来センター蔵

#### 表面作品画像

《神戸市の個人住宅(画)—95年2月8日の航空写真》2016年  
\*引用資料 人と防災未来センター蔵



Find us on  
Facebook